

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つむぎ吉備中央 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日	~	令和7年9月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年9月3日	~	令和7年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月16日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者同士やきょうだい同士の関わりの場が設かれている。	毎月第1土曜日に「親子療育」を実施しています。このプログラムでは、保護者同士の交流を深める機会や、親子で楽しく関わり合える時間を大切にしています。お子さまの成長を支えるとともに、保護者の皆さまが安心して子育てに取り組めるよう、温かい場づくりを目指しています。	今後は、親子だけでなく兄弟や祖父母も一緒に楽しめる場づくりを通して、家族のつながりをさらに深めていきたいと考えています。また、家族間のふれあいを大切にした活動にも取り組んでいきたいと思います。
2	こどもたちが、心地よく過ごすことができるよう清潔な環境になるよう取り組んでいる	職員が役割分担をしながら毎日の清掃を行い、毎月の環境整備ではチェックリストを用いて実施しています。また、園庭や園舎周辺の草取りなども定期的に行い、清潔で安全な空間づくりに努めています。	こどもたちがより気持ちよく安心して過ごせるよう、草取りなどの作業時間を見直し、丁寧に取り組めるよう計画的に進めていきます。定期的に環境を見直しながら、清潔で安全な空間づくりを継続し、快適な療育環境の実現を目指します。
3	保育所等訪問支援への同行など、関係機関との連携を図っている。	こども園への訪問やケース会議への同席を通じて、園での子どもたちの様子を共有し、先生方と協働しながら支援が行えるよう努めています。	今後も、こども園の先生方と密に情報共有を行なながら、お子さんが安心して過ごせるよう、困りごとの軽減に努めていきたいと考えています。また、具体的な支援や介入にも積極的に取り組み、よりよい連携体制の構築を進めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容が特定の職員の立案になっている。	活動の立案が担当職員に偏る傾向があります。	支援会議や連絡会を通じて、職員全員でアイデアを出し合い、遊びの研究を深めていきたいと考えています。こどもたちの興味や発達に応じた新たな活動を取り入れ、より多様で魅力的な療育の場をつくることを目指します。チームで協力しながら、活動の幅を広げ、こどもたちがいきいきと遊びから学べるよう取り組んでいきます。
2	往復の送迎利用児が多く日々の様子が連絡帳のみでのやり取りになっている。	往復送迎を利用しているご家庭とは、月に1度は直接お話しする機会がありますが、日々の情報共有が難しい状況です。	往復送迎をご利用のご家庭とは、特に丁寧な情報共有を心がけ、こどもたちの様子や支援の方向性をしっかりと確認していきたいと考えています。毎月第1土曜日に実施している親子活動への参加を促し、ご家庭での様子や子育てに関する不安にも寄り添いながら、安心して過ごせる支援を目指していきます。
3	利用人数が多い日にはプレイエリアが混雑しやすい。	構造化の工夫や玩具・遊び内容の調整を行なながら対応しています。	利用されているお子さんの特性や遊びの発達段階に応じて、玩具の種類や配置を工夫し、遊びに集中できる環境づくりを進めています。遊びの内容や空間構成の工夫についても検討を重ね、こどもたちが安心して楽しめる場を提供できるよう取り組んでいきます。